

2015年度のトレセン利用状況

1. トレセン機器・物品借用手続きについて

トレセンでは、Outlook Web Appのパブリックフォルダを活用した機器借用予約システムで予約の手続きをしています。新入生、留学生または初めて使用される先生方は、手続き方法について当センターのトレセン機器管理担当者（cst-management@group.nifs-k.ac.jp）にお問い合わせさせていただくか、Outlook Web Appのパブリックフォルダ内にある「貸出マニュアル」をご覧ください。臨時の借用状況確認や緊急貸出に関しては、トレセン機器管理担当者へメールまたはお電話でのお問い合わせも可能ですが、対応できる者が不在の場合および既に先約がある場合はご希望に添えないことがあります。できるだけ早めに機器借用予約システムで予約していただくよう、引き続きご協力をお願いします。

2. トレセン利用状況

表1に、スポーツトレーニング教育研究センターの利用状況を示します。本年度の施設利用延べ件数は、前年度よりも73%増加しました。利用種別にみても、環境シュミレーターの利用が増加しました。これは、実験だけでなく、トレーニングとして利用する学生が増えたためです。その他、学内外で使用するために機器を借用される人が増えました。表2に、測定機器の貸出状況を示します。本年度の貸出延べ件数は、前年度より63%増加しました。使用機器別にみても、屋外パフォーマンス測定、身体組成計測、HRモニター、自転車エルゴメータ関連、光電管が前年度よりも大きく増加した。

表1 スポーツトレーニング教育研究センター利用状況

利用種別	2015 年度	前年比 (%)	2014 年度	2013 年度	2012 年度	2011 年度
運動機能測定室	63	▲ 46	117	317	157	201
環境シュミレーター	31	244	9	7	14	34
形態計測室	19	▲ 34	29	115	122	49
スポーツコンディショニング室	65	86	35	93	33	65
スポーツ技術クリニック室	91	128	40	71	99	30
学内機器使用	322	158	125	144	170	290
学外機器使用	71	154	28	65	103	106
合計	662	73	383	812	698	775

※集計は、2015年1月～2016年1月末日までに申請されたものである。

※▲は、前年度と比較して減少したことを示す。

3. トレセン機器についてのお願い

トレセン機器貸出の際に、出来るだけ機器物品の運搬方法や返却場所について説明しています。しかしながら、誰がいつどこに返却したか分からなくなっているケースや、誰がいつ破損・紛失したかを確認できないケースが数件あります。多くの人たちに円滑に機器を利用してもらうためにも、規定のマニュアルを原則厳守してください。もし、機器の不具合や不明な点がありましたら、トレセン機器管理担当者までご連絡ください。
(文責：高井洋平)

表2. 測定機器の貸出状況

使用機器名	2015 年度	前年比 (%)	2014 年度	2013 年度	2012 年度	2011 年度
屋外パフォーマンス測定 (ラベック, スピードガン等)	11	267	3	20	32	43
屋内パフォーマンス測定 (マットスイッチ, 同期ランプ等)	116	81	64	69	203	86
形態計測 (メジャー, 長座体前屈等)	22	▲ 58	53	85	41	62
身体組成計測 (TANITA, Prosound 等)	97	471	17	97	68	70
Biodex	16	78	9	19	11	18
Powerlab	9	▲ 40	15	43	39	35
筋電図	3	▲ 75	12	15	18	10
筋力計類	66	89	35	130	82	97
Vmax	21	50	14	57	27	25
HR モニタ	20	186	7	14	11	18
自転車エルゴメータ関連	43	207	14	50	15	38
トレッドミル関連	2	▲ 60	5	21	3	3
その他呼吸循環系測定関連	48	2	47	85	53	51
光電管	45	150	18	16	27	27
フォースプレート	8	▲ 27	11	29	21	77
その他動作解析関連	22	0	22	19	6	31
備品関連	25	257	7	25	22	50
合計	574	63	353	794	679	741

※集計は、2015年1月～2016年1月末日までに申請されたものである。

※▲は、前年度と比較して減少したことを示す。